

■市の概要

熊本県の南西部に位置する天草市。人口は県下第3位、総面積は県下最大を誇ります。

県庁所在地である熊本市から、天草市役所本庁舎がある本渡地区まで車で2時間ほどを要します。

東シナ海・有明海・八代海の3つの海に囲まれ、雲仙天草国立公園に指定されている自然景観をはじめ、日本の夕陽百選に選ばれている夕日スポット、キリシタンの歴史や南蛮文化、イルカウォッチングなど数多くの観光資源に恵まれています。

平成30年には、天草の崎津集落（河浦町）が「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」の構成資産として世界文化遺産に登録。厳しい禁教下に、日本の伝統宗教とキリスト教が共存しながら信仰を継続した潜伏キリシタンの集落として高く評価されています。

面積:683.82km²(令和4年1月1日時点)

人口:74,914人(令和5年1月末時点)

世帯数:36,239世帯(令和5年1月末時点)

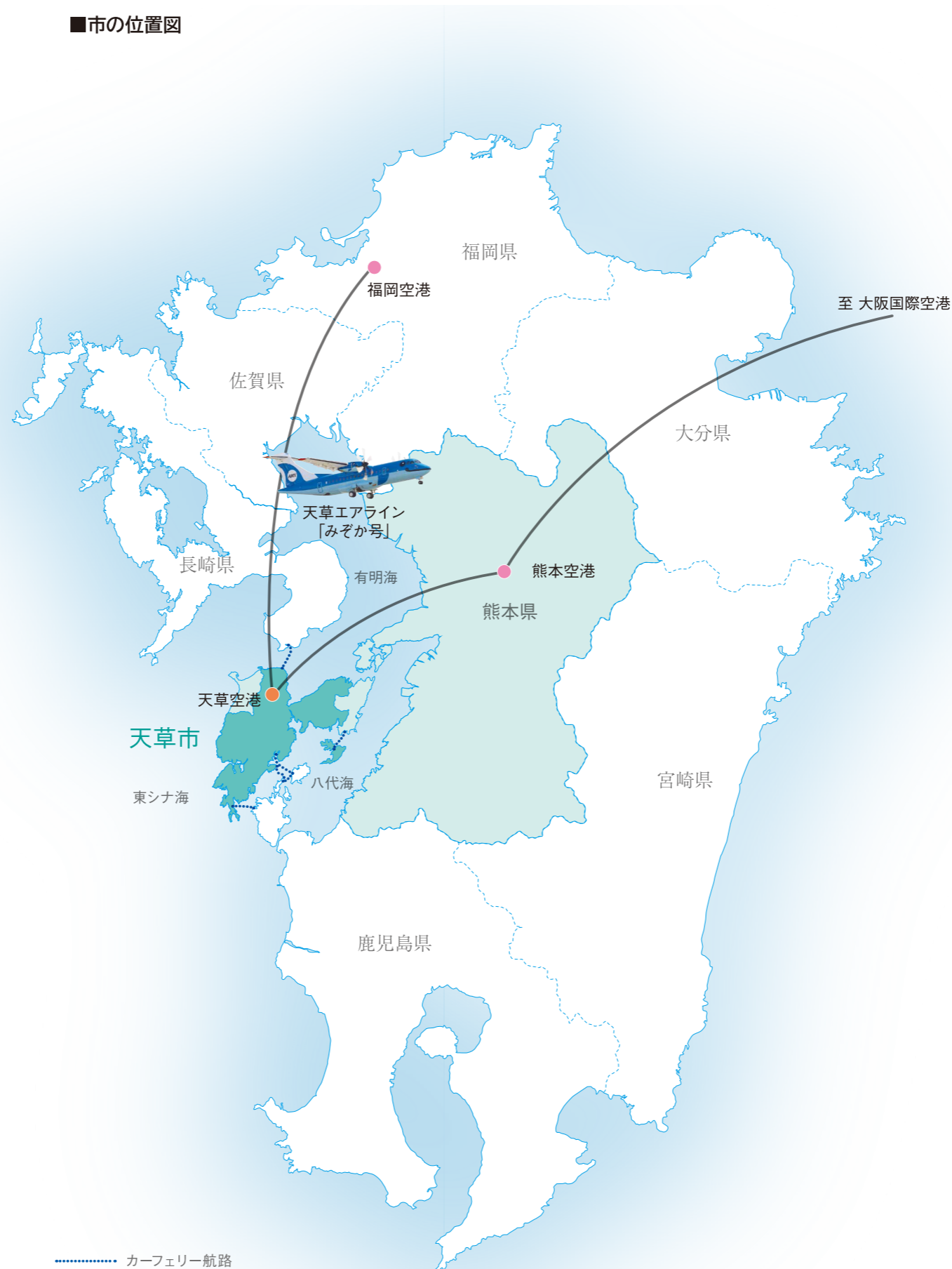
姉妹都市:アメリカ・エンシニタス市

友好都市:熊本県高森町、北海道浦河町、熊本県五木村
長崎県新上五島町、長崎県南島原市
愛知県瀬戸市

目次 Contents

市の概要	1
発刊にあたって(市長あいさつ)	2
市の魅力紹介(写真)	3
第3次天草市総合計画の概要	5
ともに学びともに育つまち	6
つながり稼げるまち	7
やさしさと安心のまち	8
自然と共生するまち	9
挑み続ける行政経営に取り組むまち	10

■市の位置図



発刊にあたって

天草市は、熊本県南西部に位置し、周囲を美しく美しい海に囲まれた天草上島と下島および御所浦島など120余りの島々で構成される天草諸島にあり、平成18年3月27日に2市8町が合併して誕生しました。

昭和31年に雲仙天草国立公園として指定された美しい景観や豊かな自然、平成30年に「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」として世界文化遺産に登録された「天草の崎津集落」など、数多くの観光資源を有しています。

また、温暖な気候を利用した農産物や、市域の68%を占める山林から生み出される林産物、豊かな3つの海で育まれた水産物など、農林水産資源にも恵まれた地域です。

令和5年度から7年間の市の基本指針となる第3次天草市総合計画では、「ともにつながり 幸せ実感 宝の島“天草”」を市が目指す将来像として掲げました。これは、“ひと”が多様な価値観を認め合いながら、ともに手を取り合い、チカラを合わせ、地域資源を磨き上げていくことで、より光輝く魅力ある宝の島“天草”で日々暮らせることの幸せを実感する姿を描いたものです。この将来像の実現に向けて取り組みを進めていきます。

本市の目指す姿や魅力をご理解していただくための一助として、この市勢要覧をご覧いただければ幸いです。

天草市長

馬場 昭治

